

事務事業名		障害者等生活サポート事業			会計	一般会計		事業種別		政策	開始	18	終了		
H27担当課等名	福祉課		H27係等名	障害福祉係		H26係等名		障害福祉係							
基本計画上の位置づけ	政策	3	健やかに安心して暮らせるまちづくり												
	施策	34	障害者福祉の推進												
目的	対象(誰・何を)	1 65歳未満の在宅の手帳保持者 2 事業を支えるサポーター養成可能人数										指標名及び単位		26年度数値	
	意図(どういう状態にするか)	1 在宅で困難のある日常生活を支援して、快適な生活が送れるようにする 2 事業を実施するためのサポーター養成をすすめる										対象指標		65歳未満の在宅の手帳保持者数(人)	1492
	向上させたい上位施策の成果指標	安心して地域で日常生活が送れている割合										対象指標		事業を支えるサポーター養成可能人数(人)	164178
目標	種別	指標名及び単位			26年度計画	26年度実績	27年度計画	28年度見込み	備考(指標変更など)						
	成果指標	サポーター利用人数(人)			6	4	5	12							
	成果指標	事業を支えるサポーターの養成人数(人)			10	6	10	10							
	定性目標														
事業概要	飯伊圏域障害者総合支援センターへの委託事業として実施														
	1 何らかの理由(介護者の休息、買い物、旅行など)で、介護者の介護が受けられない場合に、介護者に替わって、障害者が介護を受けられるようにする。														
	2 日常生活で家事等の支援をサポートする。														
	3 就労等の体験事業や就労に必要なサポートをする。														
	4 買い物、通院等の自立体験をする。														
26年度事業内容	事業内容					名称					活動指標				
	1 サポーター派遣事業					1 利用実人数					1 4人				
	2 障害者サポーター養成講座					2 養成講座開催数					2 1回				
	3 サポーターの養成人数					3 人数					3 6人				
事業コスト		25年度決算額	26年度予算額	26年度決算額	27年度予算額	特定財源内訳、補足									
事業費計(千円)①		541	674	562	639										
国庫支出金															
県支出金															
起債															
その他															
一般財源		541	674	562	639										
人件費計(千円)②		143		143											
正規職員所要時間		40		40											
臨時職員所要時間															
総事業費①+②		684	674	705	639										
事業内容・目標達成状況の振り返り	障害者総合支援法上の制度の谷間となっている部分へのサポーター派遣により、家事など日常生活上の支援ができた。また、障害者の理解を深めるために、多くのサポーターを要請する機会を設けた。														
改革改善の考え方	①問題点	障害者総合支援法の各種サービスでは対応できない要望等のある方へサポーター派遣制度の周知を図り、自立の援助に繋げていく。													
	②改革提案	平成26年10月に委託事業所の支援センター名称変更を契機に新たにチラシを作成したところであり、特定相談支援事業所等を通じて制度の周知を図っていきたい。													